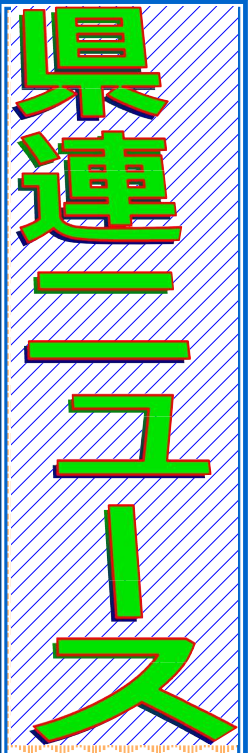


第64回熊本県民医連定期総会開催



発行者：木原 望
TEL：096-387-2826
FAX：096-381-5442

4月29日(日) 菊陽病院にて、各事業所から選出された代議員79名、役員22名、事務局員5名の計106名が参加し、「熊本県民医連第64回定期総会」を開催しました。

冒頭の会長あいさつでは、光永会長より、熊本地震という大変なことに正面から立ち向かい、民医連としての役割を全職員が発揮したことに対する敬意が表され、それと同時に全国の仲間の支えと励ましがあつたことを忘れてはならないとの訴えがありました。来賓あいさつは4名の方にいただきました。ノーマア2次訴訟原告団の小田副団長からは、「最大のパートナーである民医連にこれからも連帯していただき力を貸していただきたい。」、くまもと9条の会の三澤事務局長からは、「今こそ9条の出番であり、本物の非核化の方向は9条が明確に指し示している。当面の目標の3000万署名を成功させよう。」、白旗仮設団地の児成自治会長からは、「目に見える復興は進んでいるが、目に見えないところで復興できない人がいる。手を差し伸べてください。」

私たちはその手をがっちり握ります。被災者の一番の課題は医療費免除の復活です。」とあいさつを受けました。また日本共産党の山本県議会議員からは、熊本地震後の活動に敬意が表され、「政治の力関係を変えて安心して暮らせる社会を実現していこう。」との言葉を受けました。

熊本地震を地域とともに必ず乗り越えようと誓い合った前総会から2年。理事会から提案を受けた第37期運動方針案を29名の豊かな発言で深め、2020年に向かう方針を全会一致で採択するとともに、新たな県連役員を選出する総会となりました。

2020年は全日本民医連の総会が熊本で開催されます。これからの2年間、熊本県民医連の歴史を振り返りそして学び、自分たちが歩む道を改めて確認するとともに、2つの柱の実践を深めつつ、人間の復興に向けて被災者に手を差し伸べ、本当の意味で熊本地震を乗り越えていけるように頑張ってください。

事務局長 木原望

熊本県民医連 第37期新役員のみなさんをご紹介します



井長秀典事務局長次長



田代美由紀理事



坂本泰浩理事



竹丸恵子理事



広瀬良太理事



尾田新吾理事

新任挨拶：井長秀典

4月より県連に異動となり、事務局次長となりました。医事経験が長く、なれない職場で日々奮闘しています。2020年2月に第44回全日本民医連定期総会が初めて熊本で開催されます。現地実行委員として頑張りますが、一部の担当だけで取り組むのではなく、各事業所の職員全員の力を結集させて成功させたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



梅林隆臣理事



渡辺典子理事



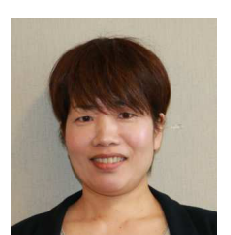
桑原山人理事



馬着隆介理事



平岡佑規理事



打上里美理事